

金山町

かねやままち

只見線
復旧応援

三島町

みしままち

只見町

ただみまち

◎長谷部家住宅(只見町)

布沢ブナの森(只見町)

◎田子倉湖(只見町)

◎第一只見川橋梁(三島町)

昭和村

しょうわむら

南会津町南郷地域

みなみあいづまちなんごう

大宮橋より望む伊南川(南会津町)

奥会津の 古文書

総集編

令和4年

4/16(土) ▶ 8/21(日)

福島県歴史資料館展示室
(とうほう・みんなの文化センター内)

【開館時間】 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】 4/25(月)、5/9(月)・16(月)、
6/13(月)・27(月)、7/4(月)・25(月)、8/8(月)

【主催】 公益財団法人 福島県文化振興財団

入館
無料

関連イベント[上映会] 要事前申込

5月28日(土)「ハーメルン」(132分、2013年) 13:00～

8月5日(金)「からむしのこえ」(91分、2020年) 13:00～

詳細は福島県歴史資料館ホームページを御参照下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期・休館日を変更する場合があります。



福島県歴史資料館

〒960-8116 福島県福島市春日町5-54
TEL 024-534-9193 FAX 024-534-9195

福島県歴史資料館

検索



【背景資料名】 会津細見絵図(部分、馬場篤家文書1)
◎は越後三山只見国定公園区域

平成23年(2011)7月の新潟・福島豪雨のため、只見線は橋梁の流失や土砂崩れによる線路の崩壊など甚大な被害を受けました。只見線の早期復旧を応援するため、平成29年度からこれまで奥会津にゆかりの古文書を5回シリーズで取り上げてきました。只見線は本年秋に全線再開通する運びとなり、それを記念してこれまでの総集編として展示します。この展示では、三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町南郷地域の代表的な古文書を紹介し、この地域の歴史と文化的な魅力を伝えます。

〔坂十郎左衛門様上扣大谷組絵図〕(二瓶八郎家文書242)

享和2年(1802)9月に作成された大谷組の領域絵図で、坂十郎左衛門に提出された絵図の控です。小判形には村名が記され、朱は道、群青は河川を表しています。右端は只見川です。



宅地分間百歩壹之圖(長谷部家文書Ⅱ78)

天保2年(1831)に長谷部家住宅を描いた宅相図で、家の様子から吉凶を判断するために作成されました。敷地内には立派な門構えがあり、長谷部家の暮らしぶりを窺うことができます。



飢饉農諭傳記(皆川欣也家文書1257)

天明の飢饉などの実情や飢饉への備えを記したもので、本文を下野国黒羽藩家老の鈴木正長が執筆し、同藩の長坂安利が出版した長坂版「農諭」の再々写本です。天保9年(1838)に皆川頭恒が書写したものです。

会津御蔵入始覚書(目黒武男家文書1)

南山御蔵入領で、郷頭設置の歴史、村数、人数、石高などを記した覚書で、弘化4年(1847)に書写されたものです。この地域は、会津藩の預り地とされた時期もありました。



会津農書二(佐々木太市家文書2)

会津農書は、幕内村(会津若松市神指町)の肝煎佐瀬与次右衛門が貞享元年(1684)に著した農業技術書です。与次右衛門が実際に体験したことを基にして研究した技術を記しており、カラムシ栽培に関する記述もあります。



〔大新田・水根沢両村絵図〕(酒井一家文書344)

文化2年(1805)6月に作成されたもので、左を北にした構図となっています。伊南川東岸の大新田・水根沢両村を描いた村絵図で、集落・神社・用水・橋などが詳しく記されています。両村は用水を村境としていました。

